

## がん教育

6月23日（月）の総合的な学習の時間に、がんを経験された佐久間久美さんを講師としてお招きし、がんについての正しい理解を深める講話をしていただきました。生徒が事前に行ったアンケートの質問、「がんってどんな病気なの？」「がんになると痛いの？」「がんと宣告された時の気持ちは？」「どのように克服したのか？」などに対して、わかりやすく丁寧にお答えくださいました。

佐久間さんは、「現在は2人に1人ががんになるといわれる時代ですが、68%のがん患者は完治しています。がんになっても終わりではありません。がんになってもできることはたくさんあります。がんと共に、自分らしく生きていくことができます。」と力強いメッセージを生徒たちに伝えてくださいました。講演の最後には、「がんのイメージが変わったか」という質問に対して、ほとんどの生徒が挙手をしていました。今回の講話を「がんの避難訓練」として捉え、今後の生活にぜひ役立ててほしいと思います。

